

乗合タクシーの利用状況等について

- ① 利用状況及び収支状況の実績等について
- ② 上地区乗合自動車の最終便（第25便）について
- ③ 今後のスケジュール等について

① 利用状況及び収支状況の実績等について

② 上地区乗合自動車の最終便（第25便）について

③ 今後のスケジュール等について

利用状況の推移「上地区乗合自動車」

年度	日数 (日)	湯の沢線			みくるべ線 ※令和5年度10月以降は、 循環線（みくるべ経由）			柳川・八沢線 ※令和5年度10月以降は、 循環線（八沢柳川経由）			合 計		
		利用者数 (人)	便数 (便)	1便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1便 平均 (人/便)
平成27年度	243	12,068	3,888	3.10	7,799	2,187	3.57	4,826	1,701	2.84	24,693	7,776	3.18
令和元年度	240	12,262	3,840	3.19	4,847	2,160	2.24	3,963	1,680	2.36	21,072	7,680	2.74
令和2年度	243	9,195	3,888	2.36	2,800	2,187	1.28	3,122	1,701	1.84	15,117	7,776	1.94
令和3年度	242	10,126	3,872	2.62	4,322	2,178	1.98	2,834	1,694	1.67	17,282	7,776	2.23
令和4年度	243	10,246	3,888	2.64	4,457	2,187	2.04	2,866	1,701	1.68	17,569	7,744	2.26
令和5年度 (前年度比)	243	10,059 (-187)	3,888	2.59	4,771 (+214)	2,068	2.31	4,787 (+1,921)	2,058	2.33	19,617 (+2,048)	8,014	2.45

○令和5年度において、全路線の合計利用者数は、令和4年度と比べ、増加。
 ⇒令和5年10月からのルート変更及びダイヤ改正の効果が見られる。
 ○特に循環線（八沢柳川経由）については、増加率が大。
 ⇒上小学校児童の利用が増えたのが要因の一つ。

利用状況の推移「コミュニティタクシー」

年度	日数 (日)	渋沢駅・秦野赤十字病院ルート			おおね台ルート		
		利用者数 (人)	便数 (便)	1 便平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便平均 (人/便)
平成27年度	243	17,277	4,617	3.74	16,630	4,374	3.80
令和元年度	240	15,423	4,560	3.38	16,654	4,320	3.86
令和 2 年度	243	10,453	4,617	2.26	13,619	4,374	3.11
令和 3 年度	242	11,726	4,598	2.55	14,166	4,356	3.25
令和 4 年度	243	12,738	4,617	2.76	15,304	4,374	3.50
令和 5 年度 (令和 4 年度比)	243	13,965 (+1,227)	4,617	3.02	16,135 (+831)	4,374	3.69

○新型コロナウイルス流行期以降、利用者数は年々、回復傾向。

収支状況「上地区乗合自動車、コミュニティタクシー」

単位：円

	総収入				事業経費						
	事業収入	市補助金	事業者負担額	計	運行経費					その他経費	計
					車両費	人件費	燃料費	その他	計		
平成27年度	16,453,620	6,231,000	617,220	23,301,840	5,614,812	10,646,176	2,704,140	3,615,162	22,580,290	721,550	23,301,840
令和元年度	15,528,950	8,512,000	1,427,122	25,468,072	7,086,684	11,123,639	3,103,025	3,540,674	24,854,022	614,050	25,468,072
令和2年度	15,924,250	8,766,000	1,547,128	26,237,378	7,219,884	12,334,373	2,783,467	3,426,904	25,764,628	472,750	26,237,378
令和3年度	15,262,300	9,883,000	2,168,703	27,314,003	7,714,933	12,116,834	3,441,983	3,511,903	26,785,653	528,350	27,314,003
令和4年度	14,377,280	10,532,000	3,158,064	28,067,344	7,374,713	12,919,197	3,654,022	3,463,004	27,410,936	656,408	28,067,344
令和5年度 (前年度比)	12,543,400 (-1,833,880)	11,466,000 (+934,000)	4,044,356 (+886,292)	28,053,756 (-13,588)	7,421,980 (+47,267)	12,638,237 (-280,960)	3,996,018 (+341,996)	3,370,471 (-92,533)	27,426,706 (+15,770)	627,050 (-29,358)	28,053,756 (-13,588)

○令和5年度の市補助金額及び事業者負担額は過去最大。
⇒収支状況は年々悪化傾向。

利用状況の推移「デマンド型」

年度	稼働日数 (日)	渋沢駅エリア			栃窪・渋沢エリア			合計		
		利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)
平成27年度	71	34	33	1.03	73	68	1.07	107	101	1.06
令和元年度	149	156	149	1.05	206	188	1.10	362	337	1.07
令和2年度	88	64	63	1.02	110	94	1.17	174	157	1.11
令和3年度	84	72	72	1.00	92	89	1.03	164	161	1.02
令和4年度	99	77	77	1.00	113	111	1.02	190	188	1.01
令和5年度 (前年度比)	109 (+10)	69 (-8)	69	1.00	128 (+15)	124	1.03	197 (+7)	193	1.02

○令和5年度における稼働日数及び利用者数は、令和4年度と比べ、微増。
○乗合率の低さが課題。

収支状況「デマンド型」

単位：円

	総収入				事業経費 (運行経費)
	運賃収入（現金）	市補助金	事業者負担額	計	
平成27年度	35,150	36,460	36,460	108,070	108,070
令和元年度	112,700	126,120	126,120	364,940	364,940
令和2年度	54,800	58,950	58,950	172,700	172,700
令和3年度	50,200	63,450	63,450	177,100	177,100
令和4年度	59,100	73,850	73,850	206,800	206,800
令和5年度 (前年度比)	61,650 (+2,550)	75,325 (+1,475)	75,325 (+1,475)	212,300 (+5,500)	212,300 (+5,500)

○令和5年度における運賃収入は、新型コロナウイルス流行期以降、回復傾向にあるが、市補助金及び事業者負担額は増加傾向。

⇒ 1人での利用者が多く、乗合率が低いことが要因。

目次

- ① 利用状況及び収支状況の実績等について
- ② 上地区乗合自動車の最終便（第25便）について**
- ③ 今後のスケジュール等について

上地区乗合自動車の最終便（第25便）について

循環線：みくるべ経由の第25便（18時15分から18時54分の間運行）については、過去に、この時間帯の便を廃止した経緯があることから、別途、見直し基準を設定。

【令和5年度第1回上地区公共交通協議会にて決定】

○最終便見直し基準：2.0人／便

（平成26年度廃止時利用者数：2.20人／便）

1 便当たりの平均利用者数（人／便）

※令和5年10月～令和6年3月実績



6か月平均値が見直し基準を下回る状況。

上地区乗合自動車の最終便（第25便）について

最終便を廃止した場合の効果

【人件費】

- ①運転手の時給：1, 200円
- ②運行時間：約1時間（18時15分から18時54分の間）
- ③1運行当たりの人件費：1, 200円（①×②）

【運賃収入】

- ①1便当たりの平均利用者数：1. 57人／便（令和5年10月～令和6年3月実績）
- ②1人当たりの最大運賃：300円
- ③1日当たりの平均運賃収入：471円（①×②）

【削減額】

- ①1日当たりの赤字額：1, 200円－471円＝729円（人件費－運賃収入）
- ②1年度当たりの削減額：729円×243日（令和5年度運行日数）＝177, 147円

⇒最終便を廃止することで、**1年度当たり約180, 000円**の経費削減となる。
この他、燃料費等の削減も見込まれる。

上地区乗合自動車の最終便（第25便）について

今後のスケジュール（案）

時期	内容
令和6年6月21日（金）	上地区公共交通協議会において、最終便の状況を報告。
令和6年7月以降	組回覧で、地域住民に最終便の廃止について周知。
令和6年10月	上地区公共交通協議会委員へ、9月末時点での実績を書面にて報告。
令和7年1月	秦野市地域公共交通会議において、「廃止」について報告。
令和7年2月～3月	・組回覧及び停留所への掲示で、地域住民に「廃止」の旨を改めて周知。 ・国へ届出する必要書類を準備。
令和7年3月31日（月）	最終便廃止

目次

- ① 利用状況及び収支状況の実績等について
- ② 上地区乗合自動車の最終便（第25便）について
- ③ 今後のスケジュール等について**

今後のスケジュール等について

上地区乗合自動車

【令和5年度第1回上地区公共交通協議会にて決定】

	令和5年						令和6年												令和7年					
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
検証期間																								
見直し案等検討																								

検証期間内において、利用者数が見直し基準（2.4人／便）に達しない場合は、見直し案を検討することとしている。

令和5年度の実績は、2.45人／便であり、見直し基準には達しているが、人件費や燃料費等の高騰による、運行経費の増加に伴う、運行事業者の収支状況の悪化に鑑みると、基準の変更も含め、見直し案を検討する。

⇒今後、利用者実態把握のため、地域住民向けのアンケートを実施。

今後のスケジュール等について

コミュニティタクシー

渋沢駅・秦野赤十字病院ルート及びおおね台ルートについても、収支が膨大な赤字であることから、今後の在り方について検討を開始する必要がある。

そこで、まずは、上地区公共交通協議会のような、自治会長を中心とした地域住民による協議体（懇談会等）の設立を目標とする。



年度内に、第1回の懇談会等を開催し、コミュニティタクシーの利用状況や収支状況等の報告を行い、課題を共有する。